

会員の広場



「趣味は詩吟です」

上田 次兵衛（東京）

若い頃から「趣味は何ですか」と聞かれるのが苦手だった。「無芸大食です」とはぐらかしてきたが、還暦を過ぎた頃になって、これではまずいと思い、短歌と詩吟に挑戦することにした。短歌の方は割愛するとして、詩吟の方は始めてもう十年になる。以前から親

しくしていた地元の米屋の主人に誘われたのがきっかけで、月二回第一第三月曜日の午前

に教場に通う。仲間五人で先生に就いて稽古をする形なので、あまり手を抜けない。先生は日本詩吟学院（岳風流）の正師範で、吟歴は長い。教え上手な人である。

岳風流は、北海道から沖縄まで一六九もの認可団体を有する大きな組織であるが、我が教場は神静地区の湘南吟詠会に属している。

湘南吟詠会には四つのグループがあつて、会員の親睦を目的とする交流会はグループ単位で行われることが多い。我々のグループでは一泊又は日帰りの吟行会と、春のさくら会と夏のゆかた会が主な親睦行事である。今年のさくら会は、四月二日に町田市のホールで開

催され、四六名が参加して盛会だった。

さくら会もゆかた会も通常二部構成で、独吟の部と構成吟の部から成る。各人が好きな吟題を選び、日頃の練習の成果を発表するのが独吟の部、予め用意された台本の順番に従い、教場単位で合吟又は連吟で競い合うのが構成吟の部で、それぞれになかなか楽しい。構成吟の台本は実行委員がその都度作成する。オリジナル版である。今年のさくら会の構成吟は主に私が作成を担当した。

福島県に滝桜で有名な三春町という町がある。昨年十月に亡くなった女性登山家の田部井淳子さんの出身地でもある。三春という町名の由来は梅と桃と桜の花が一時に咲く美しい町とのことと聞いていたので、これら三つ

の花々を詠んだ漢詩和歌等十三を選んで一つの物語を紡ぐことにした。題して「三春の詩（梅と桃と桜の競演）」である。

偶々、五月に当倶楽部の会員誕生会があり、自己紹介を兼ねて、その構成吟の台本を出席の皆様配布した。皆様多少の興味を示して下さいさつたようである。本当はその一端でもご紹介したいところであるが、残念ながら紙幅が足りない。事務局に何部かお届けしてあるので、ご興味がある方は見て頂ければ幸いです。詩吟の世界は奥が深い。六十の手習いで始めたが、詩吟は健康に良いとの説がある。又ぼけ防止にもなるという人もいる。今更師範などになる気はないが、今暫く続けてみたいと思っているところである。